



決算補足資料

2027年3月期 第1四半期決算(2026/4～2026/6)

東映アニメーション株式会社





CONTENTS

- 01. 2027年3月期 第1四半期 業績報告
- 02. 今期の見通し
- 03. 今後の事業展望





01

2027年3月期 第1四半期
業績報告

- 第1四半期として、売上高は過去二番目、営業利益は過去最高の水準を確保
- 主要作品の海外地域における配信権販売や商品化権販売が好調に推移、また円安も業績押上げに寄与
- 中期経営計画に関連する戦略投資施策による販管費増も、収益性の高い海外事業の好調を主因に営業利益率は良化

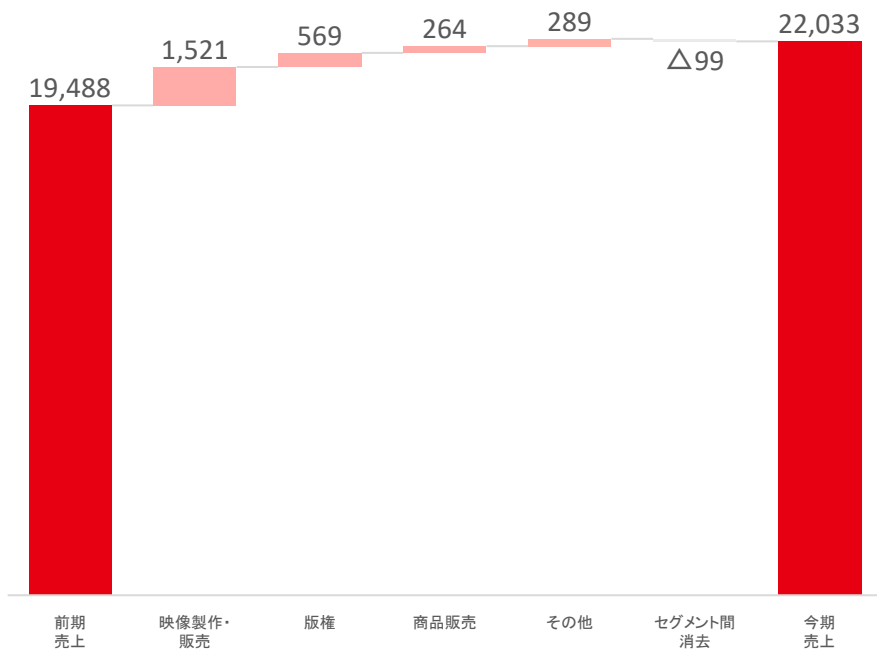
(百万円)	2027年3月期 第1四半期(2026年4月～6月)				
	実績	前年同四半期 26/03 1Q(2025年4月～6月)		前四半期 26/03 4Q(2026年1月～3月)	
		実績	YoY	実績	QonQ
売上高	22,033	19,488	13.1%	26,527	△16.9%
売上総利益	11,952	10,386	15.1%	13,342	△10.4%
販管費	4,486	3,808	17.8%	5,643	△20.5%
営業利益 (営業利益率)	7,465 (33.9%)	6,578 (33.8%)	13.5% (+0.1%)	7,699 (29.0%)	△3.0% (+4.9%)
経常利益	8,241	7,141	15.4%	8,384	△1.7%
当期純利益	6,027	5,229	15.3%	7,151	△15.7%

前年度比増減

- 売上高は、主要作品における配信権販売の好調を受けた映像製作・販売事業や、商品化権販売の好調による版權事業の好調に加え、円安に推移した為替市場の追い風を受け増収
- 営業利益は、版權事業において昨年度好調に稼働した収益性の高い自社オリジナル作品の売上減少を受け減益となるも、映像製作・販売事業において海外配信権販売の好調や円安効果等が上回り、全社として増益

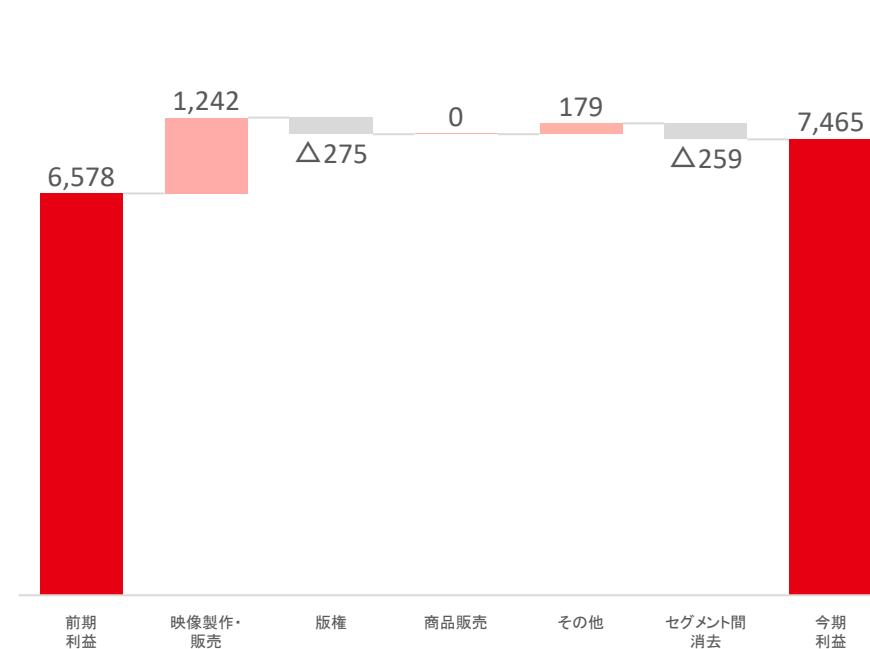
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



- 映像製作・販売事業は、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売が国内外全地域で好調に推移し、増収増益
- 著作権事業は、「ワンピース」の海外商品化権販売の好調が継続し増収も、収益性の高い「ガールズバンドクライ」の国内案件の反動減を受け、増収減益
- 商品販売事業は、「ドラゴンボール」シリーズの新規ショップ開店の影響を受け、増収
- その他事業は、「ワンピース」、「ワールドトリガー」、「プリキュア」シリーズ等各種作品の催事が好調に推移し、増収増益

(百万円)		2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減率
映像製作・販売事業	売上高	5,446	6,967	27.9%
	セグメント利益	1,131	2,373	109.8%
著作権事業	売上高	11,755	12,324	4.8%
	セグメント利益	6,584	6,309	△4.2%
商品販売事業	売上高	1,540	1,805	17.2%
	セグメント利益	82	83	0.9%
その他事業	売上高	822	1,111	35.2%
	セグメント利益	△47	131	—
連結	売上高	19,488	22,033	13.1%
	営業利益	6,578	7,465	13.5%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

(百万円)		26/03. 1Q 実績	27/03. 1Q 実績
売上全体		19,488	22,033
映像製作・販売事業		5,446	6,967
	劇場アニメ	△2	4
	テレビアニメ	577	614
	コンテンツ	91	64
	海外映像	3,734	5,114
	その他(国内配信等)	1,045	1,169
著作権事業		11,755	12,324
	国内著作権	4,282	3,770
	海外著作権	7,472	8,553
商品販売事業		1,540	1,805
その他事業		822	1,111

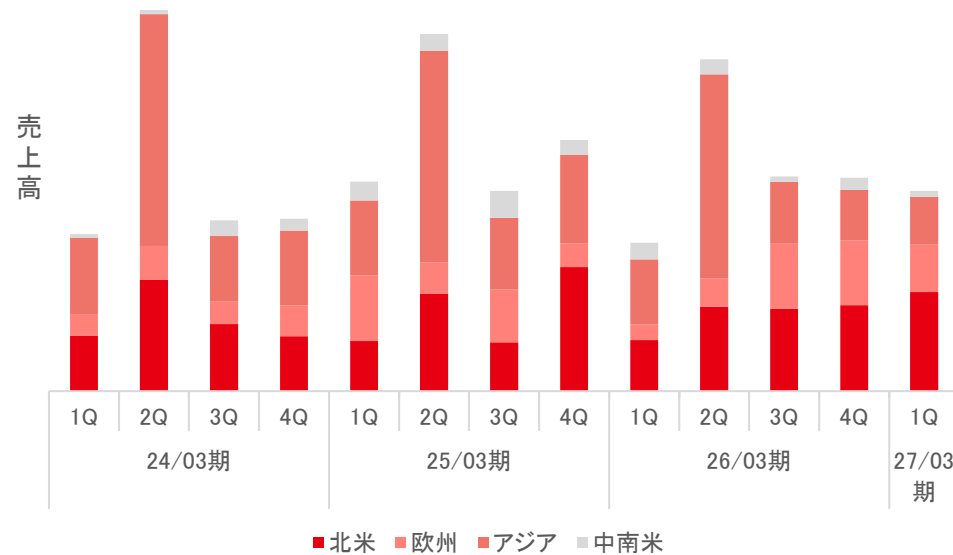
映像製作・販売事業（↑ 前期比27.9%増）

- 「劇場アニメ」は、当第1四半期における公開作品はないものの、製作委員会の配給収入の配分等を計上
- 「テレビアニメ」は、前年同期と比較して新作の放映話数が増加したことから、増収
- 「コンテンツ」は、前年同期好調に稼働した「ドラゴンボールDAIMA」のブルーレイ・DVDの反動減により、減収
- 「海外映像」は、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売が好調に稼働し、また為替の影響もあり、大幅な増収
- 「その他」は、「ドラゴンボール」シリーズの国内の配信権販売が好調に稼働し、増収

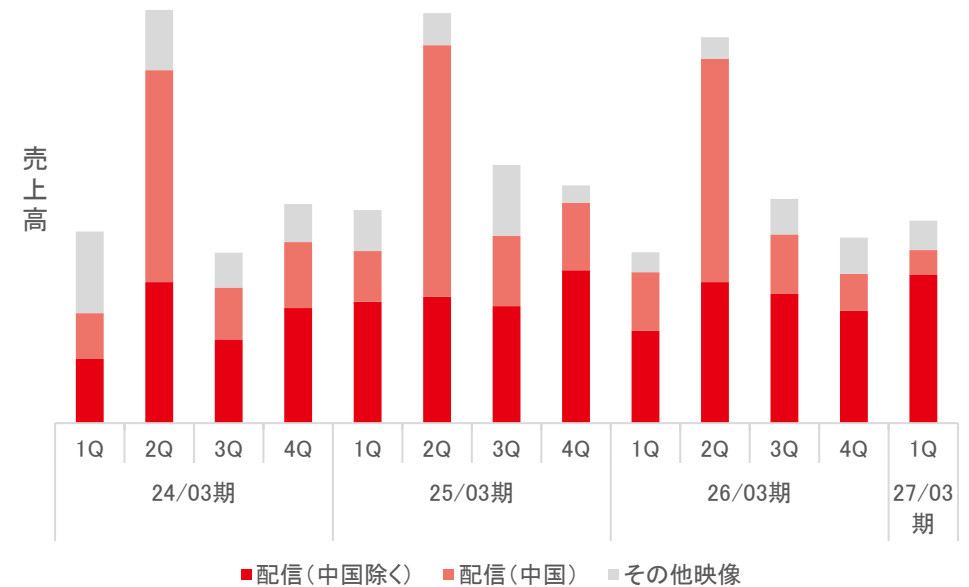
※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

- 北米・欧州は、「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズが新規契約先の獲得や契約更新等を背景に好調に推移。アジアは中国において既存配信先との契約金額減少により減収
- 配信権販売は、中国において減少も他地域における既存作品の販売拡大により増収を確保

海外映像 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。



「ONE PIECE」

- ・毎週日曜より11時15分より放送中
- ・第10回クランチロール・アニメアワードにて、「最優秀継続シリーズ賞」受賞



「名探偵プリキュア！」

- ・毎週日曜あさ8時30分より放送中
- ・第18話の『名探偵コナン』コラボを機に新視聴者層を獲得
20~30代の「親世代」視聴率が高水準となり、「親子共視聴」を生み出した

(百万円)		26/03. 1Q 実績	27/03. 1Q 実績
売上全体		19,488	22,033
映像製作・販売事業		5,446	6,967
	劇場アニメ	△2	4
	テレビアニメ	577	614
	コンテンツ	91	64
	海外映像	3,734	5,114
	その他(国内配信等)	1,045	1,169
版権事業		11,755	12,324
	国内版権	4,282	3,770
	海外版権	7,472	8,553
商品販売事業		1,540	1,805
その他事業		822	1,111

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

版権事業（↑ 前期比4.8%増）

- 「国内版権」は、「ワンピース」の商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収
- 「海外版権」は、「ワンピース」の商品化権販売、「デジモンアドベンチャー」シリーズのゲーム化権販売が好調に稼働し、また為替の影響もあり、大幅な増収

商品販売事業（↑ 前期比17.2%増）

- 「ドラゴンボール」シリーズのショップ事業が好調に稼働し、増収

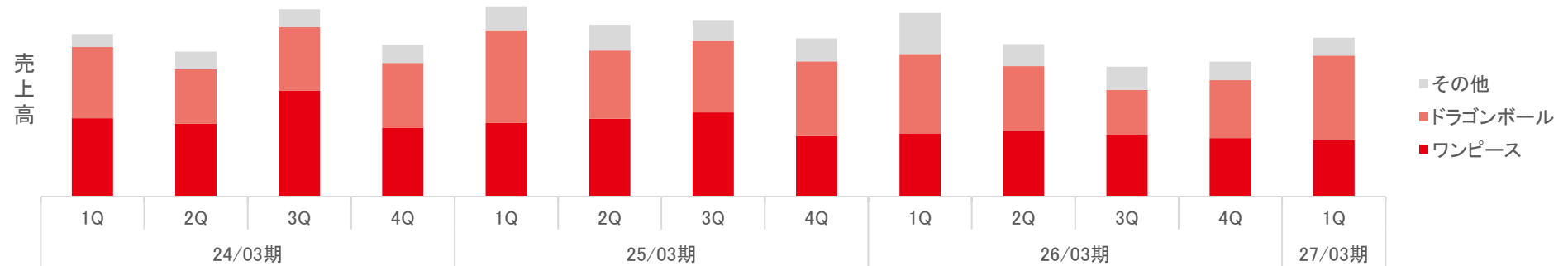
その他事業（↑ 前期比35.2%増）

- 「ワンピース」、「ワールドトリガー」、「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したこと等から、増収

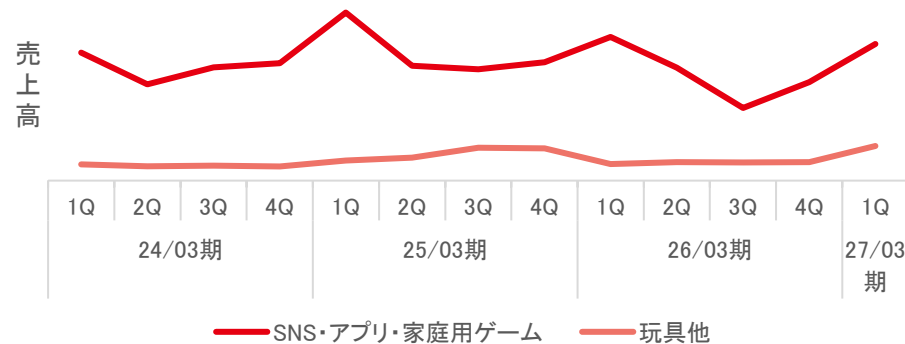
国内版権の状況

- 「ドラゴンボール」シリーズは、ゲーム化権販売は前年同期の勢いに至らず減少となるも、商品化権販売が好調に推移し、増収
- 「ワンピース」は、ゲーム化権販売は横ばいで推移も、商品化権販売における大型案件の反動を受け、減収

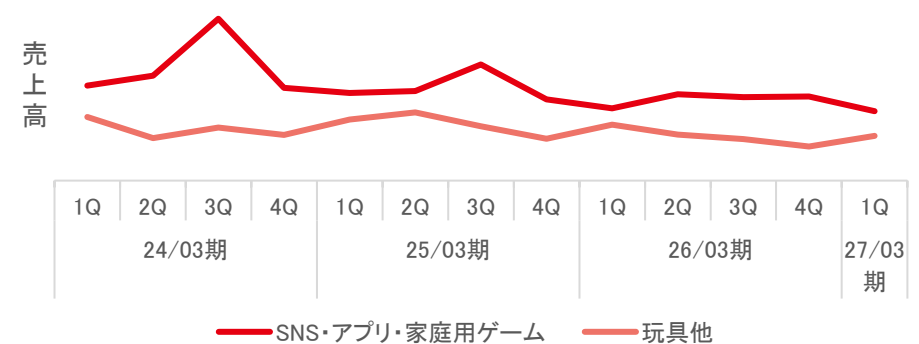
国内版権売上高の推移



ドラゴンボール国内版権売上高の推移

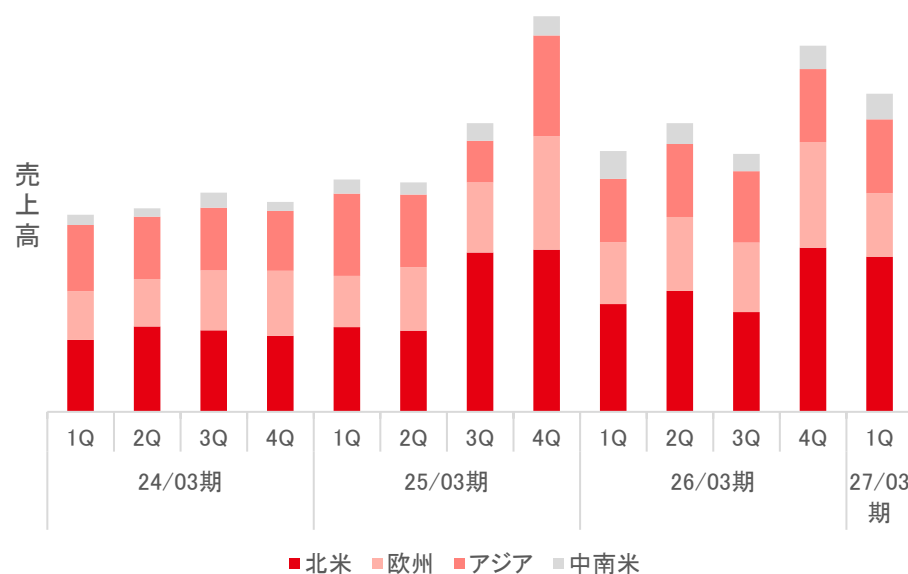


ワンピース 国内版権売上高の推移

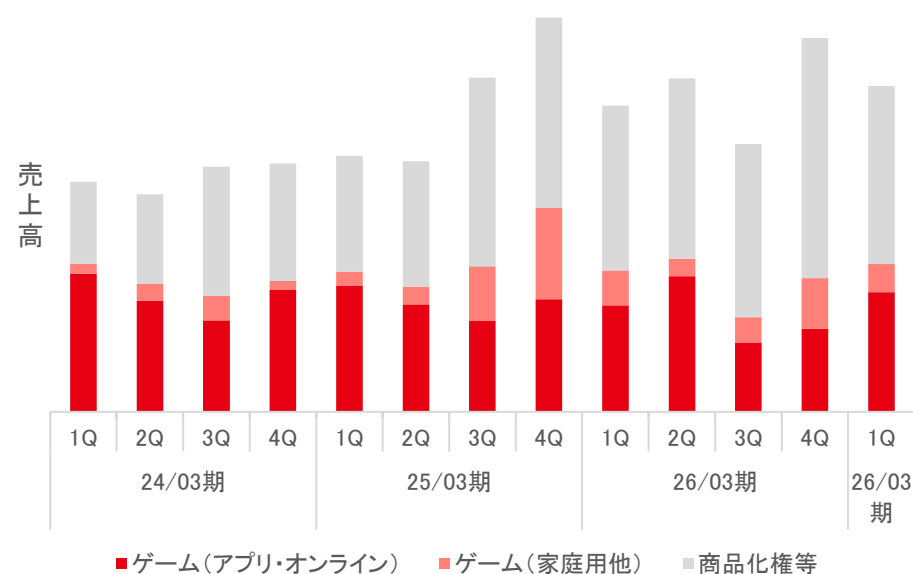


- 北米は「ワンピース」のカードゲーム好調継続を主因に増収
- ゲーム化権販売は、「ドラゴンボール」シリーズの家庭用ゲームの反動減があるも、「デジモンアドベンチャー」シリーズの新作家庭用ゲームの好調推移や新作アプリ投入により、増収

海外版権 売上高の推移



事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

国内版權



「一番くじ ドラゴンボール
THE CHRONICLE OF GOKU」



「名探偵プリキュア！
まわして変身！ ティアアルカナロッド」

海外版權



「DIGIMON CARD GAME」



「ONE PIECEカードゲーム」

商品販売



「DRAGON BALL STORE TOKYO」

その他（イベント・催事）



「トゲナシトゲアリ TOUR 2026 FINAL “拍動の未来 -ENCORE-”」

- 既存IPの好調継続。映像製作・販売事業や商品販売事業における新規取組みの寄与に加え、為替市況の追い風を受け、増収
- 中期経営計画に付随する販管費の増加を受けるも、収益性の高い海外事業の好調を受け、第1四半期として過去最高の営業利益を確保

(百万円)

	25/06 実績	26/06 実績	増減	増減率
売上高	19,488	22,033	2,544	13.1%
売上原価	9,101	10,081	979	10.8%
売上総利益	10,386	11,952	1,565	15.1%
販管費	3,808	4,486	678	17.8%
営業利益	6,578	7,465	887	13.5%
営業外収益	565	807	241	42.7%
営業外費用	2	31	29	1136.7%
経常利益	7,141	8,241	1,099	15.4%
特別損益	350	－	△350	－
税引前当期純利益	7,492	8,241	749	10.0%
法人税等	1,931	2,294	362	18.8%
法人税等調整額	330	△80	△411	－
少数株主利益	－	－	－	－
当期純利益	5,229	6,027	797	15.3%

- 現金及び預金、株主資本は期末配当金の支払により減少
- 26年下期以降に展開予定の作品製作の順調な進行により、仕掛品は増加

(百万円)

科目	2026/03	2026/06	増減	科目	2026/03	2026/06	増減
現金及び預金	92,748	88,594	△4,154	支払手形・買掛金	17,359	16,445	△914
受取手形及び売掛金	26,931	25,991	△940	その他	9,150	9,814	664
仕掛品	11,375	12,696	1,321	流動負債	26,510	26,260	△249
製作品	48	48	0	固定負債	4,721	4,653	△67
その他	4,462	5,041	579	負債合計	31,231	30,914	△317
流動資産	135,566	132,372	△3,194	株主資本	154,581	151,604	△2,977
有形固定資産	8,776	8,924	148	その他の包括利益累計 合計額	16,458	16,838	379
無形固定資産	1,435	1,420	△15	純資産合計	171,039	168,442	△2,597
投資その他の資産	56,493	56,639	145				
固定資産	66,704	66,984	279				
資産合計	202,271	199,356	△2,914	負債及び純資産合計	202,271	199,356	△2,914



02

今期の見通し

業績予想に対する進捗状況

- 売上高は、期ずれ影響もあり22%の進捗率に留まるも概ね順調。営業利益については、収益性の高い海外事業の好調さや円安効果により堅調に推移
- 第2四半期以降は、新作映像投入に伴う各種事業への波及効果を見込むも、為替推移他、外部要因の不透明感を勘案、期初見通しは据え置き

(百万円)	27/03 第1四半期	27/03 通期予想	進捗率
売上高	22,033	100,000	22.0%
映像製作・販売事業	6,967	34,400	20.3%
劇場アニメ	4	1,300	0.3%
テレビアニメ	614	2,100	29.3%
コンテンツ	64	300	21.4%
海外映像	5,114	19,700	26.0%
その他（国内配信等）	1,169	11,000	10.6%
版権事業	12,324	50,800	24.3%
国内版権	3,770	16,300	23.1%
海外版権	8,553	34,500	24.8%
商品販売事業	1,805	9,500	19.0%
その他事業	1,111	5,300	21.0%
営業利益	7,465	25,000	29.9%
経常利益	8,241	25,600	32.2%
当期純利益	6,027	18,100	33.3%

映像製作・販売事業

- ・ 劇場アニメは、第2四半期以降の新作劇場作品投入により、期初予想の達成を見込む
- ・ 海外映像は、第2四半期定例のアジア地域における契約更新の期初見通しに著変なく、通期予想は据え置き
- ・ その他（国内配信等）は、下期に大型作品の納品を控え、進捗率は低位

版権事業

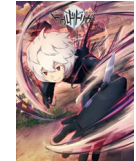
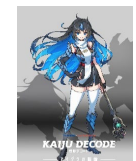
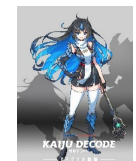
- ・ 国内版権は、概ね予算通りの進捗率。下期にかけては、「ドラゴンボール」シリーズの新規映像投入の効果を見込む
- ・ 海外版権は、足元、商品化権を中心に好調に推移中。特にワンピース等のIP認知度向上の効果を見込む

商品販売事業

- ・ 海外初出店となる「ONE PIECE MUGIWARA STORE Los Angeles」による効果を第2四半期以降に計上予定

作品展開

■映像製作・販売事業 ■著作権事業 ■商品販売事業 ■その他事業（イベント） ■分類未定

2026	2027-	時期未定
■放送中「ONE PIECE」エルバフ編  ■26/7「ONE PIECE HEROINES」放送  ■26/7「ONE PIECE NIGHT」ロサンゼルス・ドジャースコラボ ■26/9「麦わらストア 名古屋店」リニューアルオープン ■26/秋「ONE PIECE MUGIWARA STORE Los Angeles」オープン 	■27/2「THE ONE PIECE」配信  ■27/未定 新作ゲーム「ドラゴンボール ゼノバース3」発売  ■「ドラゴンボール」テーマパーク 	
■放送中「DIGIMON BEATBREAK」  ■26/7「デジモンストーリー タイムスレンジャー」Nintendo Switch™ 2 / Nintendo Switch™版発売 ■26/7「デジモンUP」発売  ■26/未定「デジモンアリシオン」発売	■27/未定「デジモンストーリー タイムスレンジャー」大型DLC発売	■「ドラゴンボール超 銀河パトロール」 
■放送中「名探偵プリキュア！」  ■放送中「おしりたんてい」  ■26/04「ワールドトリガーフェスティバル2026」開催 ■26/5「トゲナシトゲアリ TOUR 2026 FINAL “拍動の未来 -ENCORE-”」開催	■26/9/18「映画名探偵プリキュア！」公開  ■26/7「花仙子之魔法香対論」配信  ■26/10「名探偵プリキュア！LIVE2026」 ■26/11/13「楽園追放 心のレゾナンス」公開  ■26/冬 新作ゲーム「楽園追放 -The Stellar Angel-」 ■26/8, 9, 11, 12「Anime WORLD TRIGGER Exhibition “REBOOT”」開催  ■26/11「ガールズバンドクライ Special LIVE “赤色の響祭”」開催	■新作ゲーム「ガールズバンドクライ First Riff」  ■劇場用長編アニメーション「銀河鉄道999」  ■「ワールドトリガー」■「ガールズバンドクライ」完全新作映画   ■「怪獣デコード アイダラの指輪」  ■「MONKEY QUEST」 

※本ページに記載の発売・公開時期等は日本基準で記載しており、各地域によって公開時期等が異なる場合がございます。

04

参考資料





産み出す力



届ける力

①スタジオ

【大阪スタジオ】

大阪府大阪市内に新たな制作拠点として「大阪スタジオ」を設立

- プロジェクトのねらい
- ・製作キャパシティの拡充
- ・人材採用の選択肢増
- ・関西圏における地域連携

【CREATORS FILE】

当社のクリエイターにスポットを当て、様々な企画を展開していくプロジェクト

- プロジェクトのねらい
- ・クリエイターの認知度向上

【Pro,Pro,Pro!!】

東映アニメーション製作部発の、オリジナル短編プロジェクト

- プロジェクトのねらい
- ・作り手の認知度向上
- ・創作機会の増加



【ETERNA Animation】

若手クリエイターの発掘と育成を軸とした、次世代型のアニメーションプロジェクト

- プロジェクトのねらい
- ・若手クリエイターの育成
- ・オリジナル作品の創出



②IP

③地域展開

【ONE PIECE MUGIWARA STORE Los Angeles】

2026年秋、『ONE PIECE』の公式グッズストアである、「ONE PIECE MUGIWARA STORE」をアメリカ・ロサンゼルスにオープン

- プロジェクトのねらい
- ・海外顧客接点増加
- ・IPの認知度向上



④顧客接点

⑤その他

【株式会社Gaudi Groupへの出資】

「ファン国家」の創造を目指すスタートアップ企業であるGaudi Groupの第三者割当増資の引受けによる株式取得を実施

- プロジェクトのねらい
- ・マーケティング力強化
- ・ファンエンゲージメント向上

【従業員向け株式交付制度】

株式付与ESOP（Employee Stock Ownership Plan）信託を活用し、一定の要件を満たす従業員へ当社株式を付与することで、中長期的な活躍や挑戦を後押しする制度。

- プロジェクトのねらい
- ・従業員のエンゲージメント向上
- ・長期在籍のインセンティブ上昇

【SMG HOLDINGS株式会社への出資】

海外アニメーション・キャラクター・ブランドの著作権を基にした版權販売等を行う韓国企業である、SMG HOLDINGSへの出資を実施

- プロジェクトのねらい
- ・アジア圏でのビジネス拡大
- ・海外市場でのプレゼンス拡大



【見通しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション, ©ABC-A・東映アニメーション, ©青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996 ©ABC-A・東映アニメーション
©バード・スタジオ／集英社・東映アニメーション, ©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション, ©尾田栄一郎／集英社, ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション
©東映アニメーション, ©江坂純・諏訪さやか／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社, ©尾田栄一郎／集英社・「THE ONE PIECE」製作委員会
©バード・スタジオ／集英社・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc., ©本郷あきよし・東映アニメーション ©Bandai Namco Entertainment Inc.
©トロル・ポプラ社／おしりたんてい製作委員会, ©TAE・TAES・Tencent・Wawayu All Rights Reserved., ©2026 映画名探偵プリキュア！製作委員会
©東映アニメーション・ニトロプラス／楽園追放ソサイエティ, ©葦原大介／集英社・東映アニメーション, ©TSUBURAYA PRODUCTIONS, TOEI ANIMATION, ©2026 TOEI ANIMATION

■ 中野オフィス

〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号
中野セントラルパーク イースト 5階

■ 大泉スタジオ/東映アニメーションミュージアム

〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号

□ 海外拠点

TOEI ANIMATION INCORPORATED (ロサンゼルス)
TOEI ANIMATION EUROPE S.A.S. (パリ)
TOEI ANIMATION ENTERPRISES LIMITED (香港)
TOEI ANIMATION (SHANGHAI) CO., LTD. (上海)
TOEI ANIMATION PHILS., INC. (マニラ)

